

(2) 小規模校と適正規模校の特徴の比較 (小学校)

児童		教職員	
齋藤分小学校 (小規模校)	統合校 (適正規模校)	齋藤分小学校 (小規模校)	統合校 (適正規模校)
R5 1学級約30人/1学年約1学級/全校7学級	R5 1学級約30人/1学年約3学級/全校20学級	R5 1学級約30人/1学年約1学級/全校7学級	R5 1学級約30人/1学年約3学級/全校20学級
学級単位では小規模校と条件は変わらない		学級単位では小規模校と条件は変わらない	
学級		学級	
学年・学校		学年・学校	
<p style="text-align: center;">学習面</p> <p>学校行事等で様々な役割に携わる機会が多い</p> <p>リーダーを経験する機会が多い</p> <p style="text-align: center;">生活面</p> <p>知らない人がいない (学級・学年・先生)</p> <p>子どもたちの仲間意識が強い</p> <p>逃げ場となる機会がない (クラス替えなどが困難なため)</p> <p>一度関係がこじれると修復が困難</p>	<p style="text-align: center;">学習面</p> <p>多様な人と関わり様々な意見に触れることができる</p> <p>互いに切磋琢磨する環境をつくりやすい</p> <p>リーダーを経験する機会が減少</p> <p>大きな集団でリーダーを経験する機会が増加</p> <p style="text-align: center;">生活面</p> <p>縦のつながりは弱くなりやすい</p> <p>異学年交流は学年全体で実施</p> <p>クラス替えによる新しい出会い</p> <p>横のつながりが広がる (学級をまたいだ交流が可能)</p>	<p style="text-align: center;">学習・運営面</p> <p>学年活動の意思決定が早い (学年の教員が1人のため)</p> <p>同じ学年内に指導内容を相談できる人がいない</p> <p>学校全体で児童を指導 (全教職員で全校児童を見守る)</p> <p>一人の業務負担が増加しやすい (校務分掌を少人数で分担する必要があるため)</p>	<p style="text-align: center;">学習・運営面</p> <p>教員同士の連携により学習指導を広げたり深めたりしやすい</p> <p>バランス良く教職員の配置が可能 (学年内で新人・中堅・ベテランと教職員の配置ができる)</p> <p>教職員の人材育成につながる</p> <p>学年を中心に児童を指導 (学校全体でも児童を見守る)</p> <p>一人の業務負担が軽減される (教職員の数が増えるため)</p>